

「大津川 オオカワヂシャ調査・駆除活動」報告

手賀沼流域フォーラム実行委員会・大津川をきれいにする会

事前調査

2011年11月大津川河口で特定外来生物オオカワヂシャを初確認後、フォーラム事業として調査・駆除を継続実施してきた。

2月27日調査を実施し、上大津川の高南台方面水路・本流との合流部、逆井リン除去施設近辺の水路・隣接する湿地・本流合流部で駆除することを決定した。



駆除活動 実施日 2023年3月19日

(1)上大津川高南台方面水路・大津川15号橋下流中州

作業時間 9:00~11:30

報告：大津川をきれいにする会 輿石邦夫

参加：大津川をきれいにする会 14名

特定外来生物オオカワデシヤを手で引き抜き、水で泥を落としてトレイに入れる。脚立を使って陸揚げ、土嚢袋に入れてリヤカー・車で集積場に運ぶ。翌20日柏市に収集してもらい焼却処分。

駆除量 合計38袋



高南台方面水路



15号橋下流中州



(2)逆井方面水路・隣接する湿地 作業時間 10:15~11:30

参加：10名（外来水生植物調査駆除登録ボランティア3名、フォーラム実行委員7名）

- ・大津川本流との合流部駆除班と逆井リン除去施設付近駆除班に分かれて作業をした。
- ・逆井リン除去施設付近は、2020年度に大繁茂を確認し駆除を実施した水路南側休耕田（地図C）は、最奥部まですっかり消失し、セリとクレソンが繁茂していた。
- ・そのため水路と低湿地のみの駆除となり、水路は丁寧に駆除を行い、低湿地はぬかるみに苦労したが、群落2つ（直径50cmと1m）のみ。
- ・駆除量は2020年度81袋⇒2021年28袋⇒2022年16袋と激減した。

駆除量 土嚢袋 16袋



大津川本流との合流部



水路は丁寧に引き抜き



初めての3名も即戦力!